

## “循環”を前提に設計した服づくりのための資材ブランド「CX Apparel」誕生



本日、株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパン（広島県福山市）は、服づくりのための資材ブランド「CX Apparel（シーエックスアパレル）」をローンチしました。

同社は1994年の創業以来、不要になった衣類や繊維製品等の回収・リサイクルを通じて、循環型社会の実現に向けて様々な取り組みを行ってきました。世界的な課題として、衣類の大量生産・大量消費・大量廃棄が問題となる以前から、衣服を「捨てるもの」ではなく、「価値ある資源」として再活用する道を探求し続けています。

CX Apparelは、服づくりに欠かせないファブリックやアクセサリ類を、廃棄された衣類などから再構築し、循環型のものづくりとして皆さまに届けることを目指していきます。

## 「すべては、また服になる前提で」

素材を選ぶときも、形を決めるときも、その先にある「次の服」を想定しています。

廃棄された衣類を原料にした素材に加え、ペットボトルなど回収性の高いポリエステル素材も取り入れ、服づくりに使われる多様なパーツや資材を再構築していきます。

それは、生地・裏地・芯地・ボタン・ファスナーなど、衣服のすべての構成要素に“循環性”という視点を導入することで、誰もが自然に選びたくなる、新しい素材のあり方を定義します。

一度きりで終わらせないための設計。それが、この循環の仕組みです。



## 服の表情を、循環素材で

CX Apparel では、服をひとつの構造として捉えています。

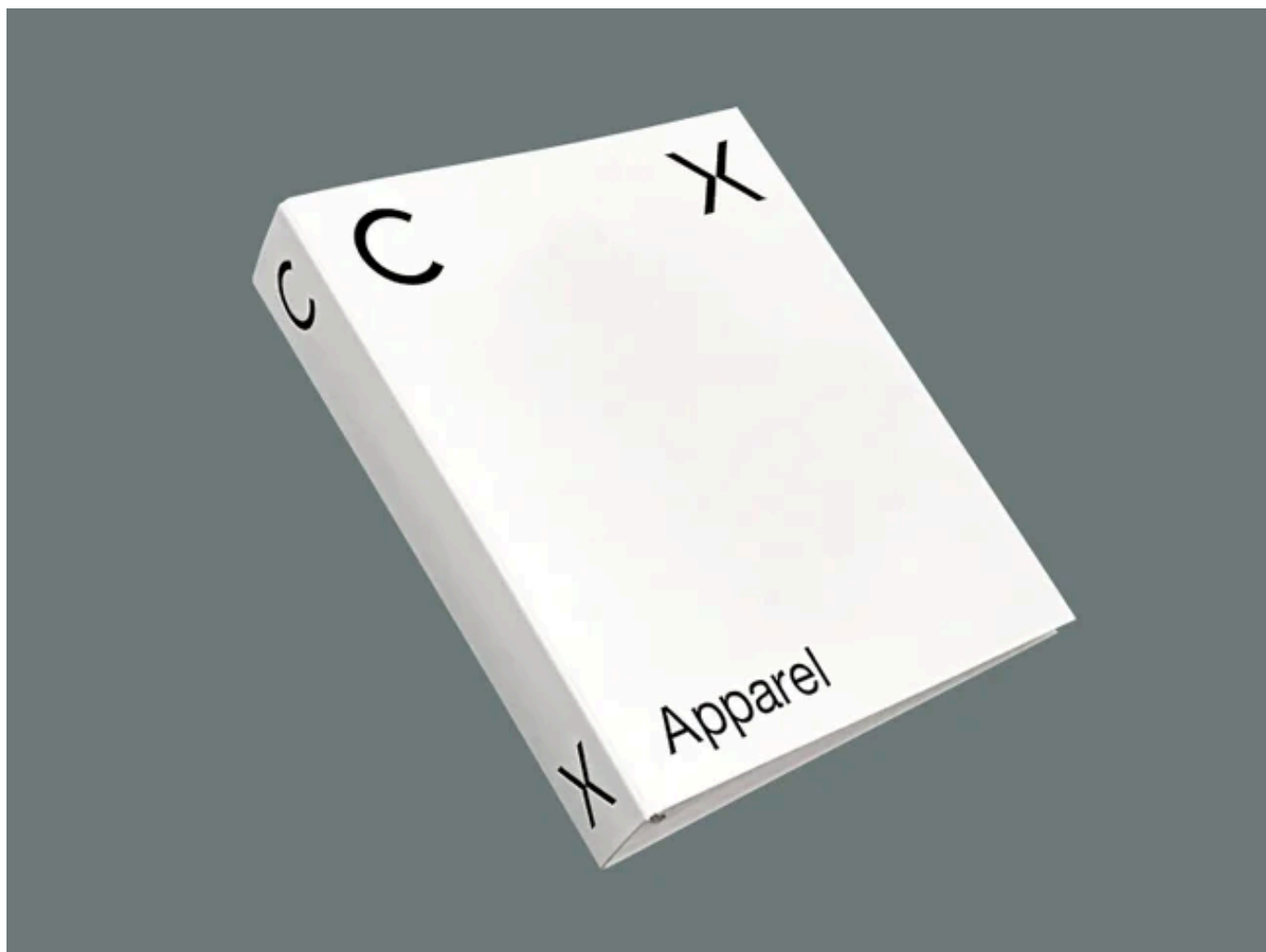
資材や副資材、それぞれが異なる素材で構成されていれば、分解は複雑になり、循環は遠ざかっていきます。だからこそ素材を揃え、混ぜない。その設計思想は、「戻れること」のためにあります。

服は、着るために美しくあると同時に、役目を終えたとき、迷わず素材へ戻れる構造でなければなりません。そのために私たちは、ポリエステル100%のファブリックと、同じ素材で設計されたアクセサリを組み合わせます。

〈収録される資材アイテム〉

表地 / 裏地 / ファスナー / ボタン / 芯地 / スレーキ / 中綿

(2026年4月現在)



リサイクルを前提とした資材で構成されたサンプル帳

## 日々の服づくりに、循環という選択肢を

ブランドやメーカーの皆さまと共に、より持続可能な服づくりを進めるためのパートナーでありたいと考えています。プロジェクトに応じた実装可能な提案と、柔軟な開発体制を整え、あらゆる服づくりの現場に心地よく循環が溶け込むような関係性を築きながら、様々な取り組みと向き合っていきます。

お問い合わせ等につきましては、下記よりご確認ください。

<https://www.cx-apparel.jp/>

Instagram: [https://www.instagram.com/cx\\_apparel/](https://www.instagram.com/cx_apparel/)

---

運営：株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパン

株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパンは、1994年の創業以来、不要になった衣類や繊維製品等の回収・リサイクルを通じて、循環型社会の実現に取り組んできた企業です。

衣類の大量生産・大量消費・大量廃棄が世界的な課題となる以前から、衣服を「捨てるもの」ではなく、「価値ある資源」として再活用する道を探求していきます。

### 〈会社概要〉

所在地：広島県福山市草戸町3-11-8

代表者：代表取締役 和田顕男

設立：1994年3月

資本金：2億6500万円

事業内容：リサイクル事業

HP：<https://www.ecolog.co.jp/>

---

当プレスリリースURL

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000010.000107569.html>

株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパンのプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/107569](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/107569)

### 【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社エコログ・リサイクリング・ジャパン

営業：左右田

メールアドレス：keisuke.souda@watz-ltd.com

電話：03-3527-2636

---